

## 風景を想像する

これから行くところを  
想像し

持っている印象を留める

文章でなくても、

絵でも。ものでも。

気になったこと、感じたことを

(書き)留める。

## 風景の中に入る

そこに体を置く

足の裏で地面と繋がり 歩く

くうき おと おんど

におい じかん

目を瞑ってみる

きょうのここ、きのうのここ

先週、1年前、5年前 10年前

100年前、千年前、万年前・・・

もしくは100年後 など

過去や未来の時間の重なりをみる

風景を体に入れる

人という風景に耳を傾ける

人という風景に出会う

まなざし 表情 語り口

その日の気候が服となり

風のように声が届く

その皮の内側にも

見えない風景が広がっている

もう一度 歩いてみる

ひとりで 歩く

気になったこと

ひっかかりのあるところに  
意識を向ける

心に湧いたものを  
留めておく

風景は

続いていく

ここも

あなたの体の中でも